

## 技術者の育成

JJ1SXA/池

『日立や東芝の労働組合でつくる電機連合の委員長、中村正武さんが、大学院卒が多い開発・設計職の働き方や処遇を見直さなければ、日本のものづくりは危うくなると、盛んに訴えている。…中略…ここが高付加価値を生み出す源泉。多くの人材が集まらなければ、どんなに産官学の連携を叫んでも世界に対抗できない…中略…文科系と比べて学生生活や就職後の賃金、昇進に魅力がないからだという指摘がある…中略…「理工系離れが進む理由」…中略…製品のブラックボックス化で内部構造がわからなくなり、少年期から、ものづくりに触れる機会がない。企業に入ってから、新技術に追いついていくのが大変…以下略』

これは、3月2日付読売新聞の編集手帳に書かれていた記事の一部を抜粋させてもらったものです。

1980年代終わり、学生が就職活動で敬遠する職場の三つの理由「危険」「汚い」「きつい」の「汚い」が「帰れない」になり、不人気なIT企業を意味する新3Kと言われるようになったが、2007年には、「危険」「帰れない」「きつい」に加え「結婚できない」の他、「規則が厳しい」「休暇がとれない」「化粧がのらない」が加わり、現在は7Kという言葉もできたようです。

いずれにしても、深刻なのは、大学入学志願者の工学部離れです、嘆いていても改まらないと、電機連合は経営側とも協力し、子どもたちを対象に全国展開で「ものづくり教室」をやろうと準備を進めているそうです。

我々の仲間で、中学の理科教師である、JR10EI岡村OMも、子どもたちの理科離れに頭を痛め、アマチュア無線を通じ科学の楽しさを教えたいと、若年ハムの育成に力をそそいでいます。

前任校でもそうでしたが、現在勤務している立川市の中学でも、部員を集め4アマを取らせ、校内にクラブ局を開設して、一生懸命指導されています、クラブ局のコールサインはJQ1YSIです、すでに今年早々には、1名3アマ国試合格者も出ていますし、まだ後に続く予備軍が数名いるようです、皆さん積極的に応援しましょう。

優秀な人材を育てることは、この国の繁栄につながります、優秀な技術者の育成は、国の責務でもあると思いますが、我々も身近でできることを見つけて、愛情を持って若年者の指導にあたることも必要でしょう。

話は変わりますが、家で購読しているのは朝日新聞です、「あらたにす」を毎朝チェックしていますが、朝日新聞の他、日経新聞、読売新聞の記事の読み比べができて大変FBです、ご存知のことでしょうが、「あらたにす」は上記3社が共同で運営しているサイトで、240HPにもリンクしてあります、ぜひご利用を！！